明科いいまち通信

明科いいまち つくろうぜい！ 編集・発行

回覧

No. 48

安曇野市明科中川手６８２４番地１
明科支所：62-3001　明科公民館：62-4605

平成３０年７月１９日 発行

今月の明科の事業所・団体紹介

今回は　**明科北認定こども園**　です

園長
藤澤　律子

今年度は０歳児３名、１歳児６名、２歳児11名、３歳児14名、４歳児15名、５歳児６名の計53名の園児たちが在園しています。

・元気で明るく健康で遊び込める子ども

・互いに認め合い、思いあえる子ども

を園目標に保育・教育を進めています。前年度から認定こども園と名称は変わりましたが、基本的なことは今までと変わりなく一人ひとりを大切にしながら子育てを保護者の方と共にしながら安心・安全な保育を心掛けています。

「先生、はいお土産！」ニコニコの笑顔と共に散歩に出かけて摘んだ花を手渡してくれる子ども達。日々そんな子どもたちの笑顔に囲まれているこども園です。廃線敷きや雷立山、天田、荻原、潮、あやめ公園などたくさんの散歩コースがありその場所々々で遊びを発見して楽しんでいます。また、園庭にいても鳥の声、セミの声、季節の風を感じられオタマジャクシ、カエル、トンボなどにも触れ合うことができます。安曇野市として信州型やまほいくを進めているのですが身近に自然を感じられるところがたくさんあることは魅力的です。遠くに出かけなくても発見をたくさんできる環境の中で育てる子どもたちはとても幸せなことですね。

雨が降るとみんなでビニールシートをかぶりながら雨の音を感じ、雨上がりには園庭にできた水たまりのところで泥遊びを楽しみ、自然が子ども達に遊びをもたらしてくれます。自然と関わりながら子ども達は生きる力を体にため込んでいきますが、その力を大事に育てていきたいと職員みんなで頑張っています。

また、民生児童委員の方をはじめ地域の方との関係も身近で、皆さんに育てられていることを強く感じます。保護者の方はもちろん、いろいろな方々が園のためにまた子どもたちのために手助けをしてくださっています。散歩に出かければ声をかけてくださる方も多く、今は子どもが一人で歩いていると何が起きるかわからない世の中になってきていますが、温かい目で見守っていただいている地域の方がいらっしゃることで安心を感じます。農業塾の方々との交流も何年か続いていて、畑でジャガイモや長ネギを植える経験をさせていただき、収穫のお手伝いもさせていただいています。土に触れることで子ども達の食育にもつながっています。園庭の隅にある畑でも今年はさつま芋、キュウリ、ミニトマト、ナス、スイカ、ズッキーニを植え収穫できるのを楽しみにしています。明北小学校に隣接していることで交流会も行われてて、音楽会にも招待をしていただきました。小学生の迫力ある演奏にくぎ付けになっていた子ども達でした。地域の方と共に成長する子ども達はいろいろな経験ができ、その経験がこれからの人生の大きな力になっていくことと思います。

未就園児の方へ園庭開放も行っていますし、育児についての相談も随時お受けしています。何かありましたら園へ連絡をいただければと思います。

これからも子どもたちのためによろしくお願いいたします。

あやめまつり

いいまちつくろうかい!!活動報告

6月9日 あやめ公園清掃活動

明科高校生始め、まつり実行委員会、小学生、商工会女性部、市職員、いいまち会員等約 100 名方の協力を得て行いました。ご協力ありがとうございました。当日参加していただいた方から感想を頂きましたので紹介します。

・昨年は、仕事の為参加できなかったが、今年は、明北小学校は地域の人々から、大変助けられているので、「私達も何か恩返ししなくちゃいけないよね」娘と相談し参加しました。明科高校生の人数が思っていた以上に多く、地元の者として有難いなあと思いました。娘は、昨年同様友達と一緒に、あやめまつりを見に行く予定です。いいまちつくろうかいの皆さんが見えないところで、明科を盛り上げてくださっているのを感じることが出来ました。

・昨年は参加できなかったが、今年は、参加できよかった。まつり前にいいまちつくろうかいの人が、きれいにしてくれているという事が分かりよかった。「よく働くね」「休憩してやってね」と、声をかけてもらいうれしかった。

以上のような感想をいただき、今後の活動に励みになります、お疲れ様でしたありがとうございました。また来年宜しくお願い致します。

6月17日 深緑ウォーキング

恒例の新緑ウォーキングが 6 月 17 日に行われました。龍門渕公園からあやめ公園を通り、廣田神社を経由して潮神明宮から廃線敷きを歩くコース。菖蒲の花が少し寂しい公園でしたが、ビンゴゲームのカード書かれたポイントを巡り、時にガイドの話に耳を傾けながら、スタッフ含めて 40 名ほどで青空の下、楽しく歩きました。9 時に明科公民館を出発し、11 時半過ぎにけやきの森で太鼓の出迎えを受けて、おもてなしのタケノコ汁をいただきました。今年はタケノコの出も良かったようで、皆さん満足されて解散となりました。その後、数名の方は先の漆久保トンネルへと向かわれました。

お祭りを通して

遠くからの来園者が多数ありました。
今年のアヤメの花が少し出来が悪かったが、おもてなし処では
お客様は少し休んでお茶やたけのこ汁を飲んでいただき
結構満足して帰っていただきました。
プロジェクト明科としては、長い期間やっていましたが色々な人達
との出会いがあり意義のあるおもてなしができたと思います。

明科たからばこ

お宝眠る　明科の地
～明科廃寺（川手寺）と信濃安曇族に思いを馳せる～
第5次明科廃寺発掘調査に寄せて

小生が安曇族というものに初めて関心を持つに至ったのは、昭和５０年に教育委員会より依頼された、後に明科廃寺の瓦を焼いたものと位置付けられる事になる塩川原の桜坂の「登り窯」について、しっかり調査するまで破壊しないよう保護するための応急工事の設計に携わった事に起因する。もともと明科の地は松本平一帯の川が集まる場所で、古代より川魚漁での生活を行っていた痕跡があり、七世紀に海人の安曇族が入ってからの中心地ではないかと言われていた。そして戦後に行われた発掘により、県下最古の本格寺院「明科廃寺（川手寺）」の存在が言われてきたもので、中学生の頃より承知はしていた。

現在は更地になってしまっているが、明科フィッシングランド跡地に明科町公民館が建てられた際、その横にあるかつての水族館の建造物を改修して「明科町歴史民俗資料館」が整備されたのだが、その中にかつての明科廃寺の瓦塔や軒丸瓦が展示されており、説明書きには「この地に七堂伽藍を具備した奈良時代の県下最古の本格寺院が建立されていた」とあった。この古代寺院と安曇族との関係について明科公民館では、かつて毎年8月盆前後に開催していた「夏期大学」の講座において昭和61年（1986）に、研究第一人者の信州大学坂本博教授（故人）により実施した。これに小生も公民館職員の一員として携わり、以後教授の講義を2度聴講した思い出がある。教授によると、この寺院は大和朝廷の手によって安曇族の象徴的建造物として仏教普及政策の一環として建てられ、五重とも七重とも言われる塔が聳え立ち、権威をふるい、安曇野各地で生活していた者たちの崇拝を集めていたのではなかろうかということ、また、この明科廃寺は大和の政変や長野の善光寺とは大きな関係があったのではないだろうかとも話された。阿弥陀如来をご本尊とする善光寺大本願の尼僧住職（上人）は天皇家直系の関係者の姫君が務めている。その初代上人は蘇我馬子の姫君であるが、その蘇我氏が中臣鎌足に大化の改新の際に打ち破られ、敗者である蘇我氏の姫君が尼僧となり、明科廃寺の住職として信濃の山奥に来られ、後に善光寺住職として大本願に入ったのではないかということであった。

明科廃寺は、朝廷が仏教普及を信越方面で進めるための基幹寺であったとも言われており、とても重要な存在であったと考えられる。当時の朝廷の権力がこんな奥深い信濃の地まで浸透し朝廷の影響力の下に置かれていたのかと考えると、一驚を喫してしまうものである。

また、その後の仁科氏の進出と安曇族の滅亡。東山道など五畿七道の整備による中央集権の発達、坂上田村麻呂の鬼退治伝説とも関係がありはしないかと思われ、この明科廃寺の発掘は古代へのロマンを駆り立てられる歴史スペクタクルである。いつの日か発掘調査に精通する郷土史研究者が在住され、この地域のお宝の明科廃寺をやがて世に出してくれるものと期待したい。

あ～ぁ、市街地が出来る前にこのお宝の存在を知らされていれば、大規模な発掘調査によりその全貌を目にすることができたのに…と悔やむのは小生だけではないだろう。

明科最大であるだけでなく、安曇野最大の、そして信濃歴史的ロマンは、この明科の地で静かな眠りについている。

みなさん!! 水の集まるところに大きな文化が育つ。歴史あるこの明科の住人であることを誇ってください!!

2018. 7　出水庵　永峰

明科いいまちつくろうかい!!

イベントのご案内

7月のいいまちサロンは

『大月裕夫ピアノコンサート』 を開催します!!

いいまちサロンも今回でなんと60回目の開催!!
今回は、夏休みコンサートを催します。公民館の涼しい空間の中で、涼味あふれるピアノのしらべをお楽しみください。

日　時　7月31日(火)10時～正午
会　場　明科公民館講堂
参加費　300円
出　演　大月裕夫さん(ピアニスト)

8月のいいまちサロンは

『アクティブシニア健康体操教室』 を開催します!!

松本市と松本山雅がタイアップして行っている健康体操を行います。ボールやタオルを使ってゲーム感覚で楽しく健康増進を目指します。どうぞご参加ください。

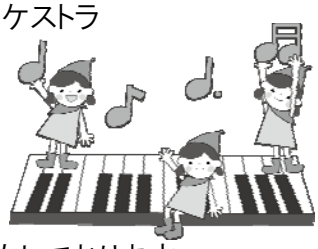
日　場　8月28日(火)
会　場　明科公民館講堂
参加費　300円
講　師　百瀬みどりさん(CFM実行委員会副理事長)

明科いいまちつくろうかい!!5周年記念コンサート

開催について

明科いいまちつくろうかい!!が発足して5周年となる事を記念して、コンサートを下記の日程で行います。

日　時:平成30年9月9日(日)
　　記念式典終了後(13時30分頃より)
出演者:ニュースリーシャープスオーケストラ
参加費:中学生以上500円
特典として先着150名様に記念品贈呈をいたします。
当日は地場産品等の販売も予定しております。多くの方の来場をお待ちしております。



明科歴史探訪講座

～明科の地名、集落のルーツを探る～

私たちの住んでいるところには、どんな歴史があるのでしょうか、また、私たちの祖先はどこから来たのでしょうか。地形や古代の道に焦点を当て、地名や集落のルーツを探ります
参加料は無料で申し込みも不要です。
是非ご参加ください。

日　時:平成30年8月7日(火)
　　10時～
会　場:明科公民館　講堂
講　師:西村　永明　さん

明科民俗講座

～安曇野の伝説　真夏の怪談編～

私たちの地域には古くから伝わる民話、伝承が数多く伝わっています。民話、伝承などは本当にあったこと、なかったこと色々ありますが、人々の様々な思いや願いが込められてきたものが多いと思います。地域の伝承を学ぶことは地域の歴史を探り、今後の生き方を模索することにもつながります。
今回は真夏の暑い中、幽霊や妖怪など怖い話を集めて涼味を満喫して楽しんでいただきたいと思います。参加料は無料で申し込みも不要ですので、どうぞお気軽にお出かけください。

日　時:平成30年8月18日(土)　10時～
会　場:明科公民館講堂
講　師:飯田高校校長　巻山　圭一　さん

編集後記

・最近握り寿司を自宅で作っています。何とか人前に出せるようになりました。回転するカウンターがあればさらに良いのですが・・回転寿司の雰囲気を出すために、テーブルの周りを回りながら食べてみようと思います。(く)

・まずは今回の大雨の被害にあわれた方々に謹んでお見舞い申し上げます。今年の秋には何をおいても岡山に行くのだと意気込んでいたのですが、行っていいものかどうか迷っています。災害復興が落ち着いていたら様子を見て考えたいと思います。(よ)

毎月第3日曜日は

家庭の日 です

～家族で一緒に過ごしましょう～

家庭の日には、優待制度が利用できる店舗・施設等があります。
詳しくは「長野県青少年育成県民会議」ホームページ http://himawari-nagano.jp/まで。